

# 高圧ポンプのアフター改善メニュー 延命化&省エネ・環境

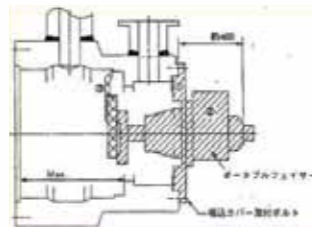
## Case 1 精密点検・補修による延命化

精密点検を実施して侵食・腐食部分の補修をすることによって、ポンプ事故発生を未然に防ぎ性能回復・部品寿命の延命化が可能となります。

ノズルが溶接された外胴体にはポータブルフェイスでの現地補修が可能です。弊社製以外にも修理実績があります。



ポータブルフェイス外観



外胴ノズル部侵食写真

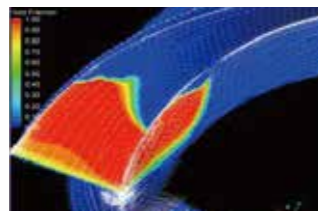


長期間補修せず摩耗により交換となった主軸

## Case 2 羽根車改造・交換による省力化&延命化



キャビテーション侵食例



キャビテーション解析例

- 1) 省エネ化のため、運転点に合わせたポンプ性能調整を羽根車外径の変更で行います。
- 2) 吸込キャビテーション解析で最適な羽根車を設計することでポンプ効率アップが可能です。

## Case 3 材料変更による延命化



内胴侵食事例



インペラ破損事例

- 1) 最新材料に更新することで延命化が可能です。
- 2) 軸受金属材料を改良することによって振動による軸受損傷のリスクを低減します。

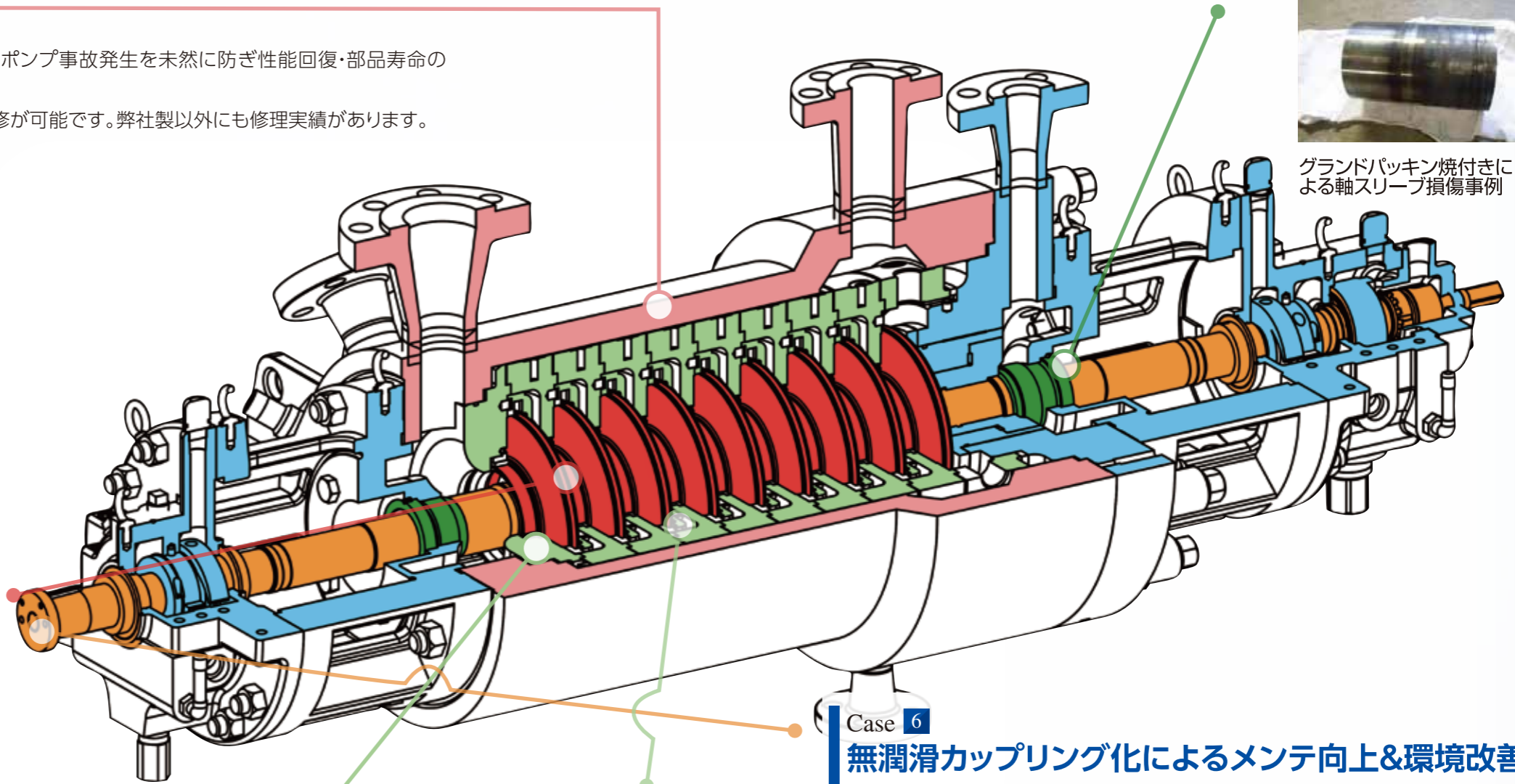
## Case 5 メカニカルシールによる省力化&環境改善

<対象機種・使用条件> HSB型、HDB型、DCS型、DCD型、SP型、SPD型ボイラー給水ポンプ

弊社では使用条件に応じた最適設計のメカニカルシールを供給することが可能です。使用条件によってフラッシングの要らないノンフラッシングメカニカルシールも供給できます。



グランドパッキン焼付きによる軸スリーブ損傷事例



## Case 6 無潤滑カップリング化によるメンテ向上&環境改善

オイルフリー・メンテナンスフリーを達成し振動発生リスクを低減します。

## Case 4 摺動部品の交換・材料変更による性能回復&延命化

- 1) お客様のポンプ運転データから現在の性能判定ができます。判定結果から、省エネの為に摺動部品の交換を提案いたします。
- 2) 摺動部材料を液質に最適な改良型に変えることによってポンプの性能低下を遅らせることが可能となります。(例: Crメッキ → 先進型Crメッキ又は溶射)

